

ぷらっとホーム、IoT エッジコンピューティングを実現する

高性能IoT ゲートウェイ「OpenBlocks® IoT VX2」を発表

次世代IoT 通信規格 LoRaWAN や LTE・地域 BWA などの通信にも対応

2017 年 12 月 20 日、ぷらっとホーム株式会社（証券コード：東証二部 6836、本社：東京都千代田区、代表取締役社長：鈴木友康、以下ぷらっとホーム）は、IoT（Internet of Things：モノのインターネット）の様々な用途へ対応できる新型 IoT ゲートウェイ「OpenBlocks® IoT VX2」を発表しました。IoT エッジコンピューティングを実現する高性能ハードウェアに加え、LTE/3G 通信はもちろん、次世代 IoT 通信規格 LoRaWAN にも対応、安定した通信事業品質の Linux カーネルを含み、Modbus を含む双方向シリアル通信が強化された IoT ゲートウェイ専用ファームウェア「IoT Gateway Firmware 3.0」（以下、FW3.0）を搭載し、IoT エッジコンピューティングをはじめとする次世代 IoT システムの構築に最適な製品です。

OpenBlocks® IoT VX2 製品概要

OpenBlocks® IoT VX2 は昨今 IoT システムで必要不可欠とされる IoT エッジコンピューティングの構築を強化にサポートする製品です。

現在多くの IoT システムはクラウドコンピューティングによって高度な処理を実現していますが、IoT エッジコンピューティングは処理の即応性やクラウドリソースの使用量最適化を実現し、より多くの課題を解決する事ができます。

OpenBlocks® IoT VX2 は既存の IoT ゲートウェイ製品シリーズ OpenBlocks® IoT Family（以下、OpenBlocks® IoT）で培ったノウハウやお客様から要望が多かった機能を取り込み、IoT システムの信頼性の高い長期運用に耐えうる製品に仕上げました。

● 性能・機能強化

高性能 64bit CPU(1.33GHz デュアルコア)や大容量内蔵ストレージ(32GB)・大容量 RAM(2GB)の搭載をはじめ、Ethernet ポートの 2 ポート化など、IoT エッジコンピューティングを実現するために必要なハードウェア性能やインターフェースの強化を行いました。



● LPWA 対応

低消費電力かつ遠距離通信を実現する次世代のIoT通信として注目を集めている LPWA 通信 (LoRaWAN) に対応した「LoRaWAN 通信モジュール」をオプションで追加できます。NTT ドコモの商用 LPWA サービス「LoRaWAN™スポット」やNTT ネオメイトの LoRaWAN 通信網※に対応し、農業施設や工場、遠隔施設などの新たな IoT システムの構築を支援します。

※NTT ネオメイトが提供する Fukuoka City LoRaWAN™で接続検証済

● 新型ファームウェア「FW3.0」

さらに、IoT 本番環境での長期運用を支援する新型ファームウェア「IoT Gateway Firmware 3.0」を搭載しました。

FW3.0 はコネクティビティソフトウェア機能によるデバイスやクラウドとの通信はもちろん、新しく Docker をサポートしており、IoT ゲートウェイ内での Docker コンテナの動作が可能です。またプログラミングツール「Node-RED」を搭載かつ、高速スクリプト言語「Lua」を用いた機能拡張にも対応しており、IoT ゲートウェイ側でのデータ処理に関する開発工数などを大幅に削減できます。

OpenBlocks® IoT VX2 によって、大量・広域・多地点展開を前提とする IoT システムの構築はもちろん、即応性が重要となる工場やプラント施設、気象、防犯等、IoT エッジコンピューティングの利用が最適とされる分野における IoT システムの本格導入が実現できます。



製品特長

● 様々なデバイス、WAN・LAN 接続を実現する多様な通信インターフェイス

▶ デバイス通信インターフェイス

センサーなどの IoT デバイスと IoT ゲートウェイ間の通信を実現する様々なデバイス通信インターフェイスを実装しています。

- ◇ GPIO/I2C (内部ピンヘッダ)
- ◇ Audio (内部ピンヘッダ)
- ◇ USB 3.0
- ◇ UART (USB Serial Console, RS-485)
- ◇ CAN (FTDI)
- ◇ BT 4.0(BLE 対応)
- ◇ EnOcean(内蔵オプション)

- ◇ Wi-SUN (内蔵オプション)
- ネットワーク通信インターフェイス
IoT ゲートウェイとクラウド間の通信を行うため、有線・無線の多様なインターフェイスに対応しています。
- ◇ Gigabit-Ethernet × 2
- ◇ WLAN (802.11a/b/g/n/ac)
- ◇ ワイヤレス WAN (内蔵オプション)
 - NTT ドコモ LTE/3G
 - KDDI LTE
 - ソフトバンク LTE/3G
 - 地域 BWA
- ◇ LoRaWAN (内蔵オプション)
 - NTT ドコモ LoRaWAN™ スポットとのデータ通信に対応
 - NTT ネオメイトの LoRaWAN 通信網に対応
- **軽量・小型・堅牢な筐体設計**
 - ファンレス半密閉構造：防塵性能 IP40
 - 超小型：筐体サイズ 91.9×114.8×25mm の超小型フォームファクタ
 - 超軽量：筐体重量約 160g 壁面・天井を含む空間へ容易に設置可能
 - 耐環境性能：-20°C～+60°C (標準添付「放熱・設置ブラケット」装着時)、-20°C～+40°C (同未装着時)

サブスクリプションサービスやハードウェア保守を提供

OpenBlocks® IoT VX2 の長期運用をサポートするため、年単位でのサブスクリプションサービスとハードウェア保守を提供します。サブスクリプションサービスは IoT Gateway Firmware 3.0 を搭載した OpenBlocks® IoT VX2 について複数年に渡る長期のサポートを提供するとともに、IoT ゲートウェイの統合遠隔管理 SaaS 型サービス、AirManage™ for IoT を標準で利用でき、また、システムの恒常的な維持のためファームウェアバージョンアップ時の通知サービスや、ハードウェアの先出しセンドバックサービス、製品利用のサポートが長期的に受ける事ができます。さらに、ハードウェア標準保証期間も最大 5 年間延長することが出来ます。

製品詳細

- 品名・価格等

名称：OpenBlocks[®] IoT VX2

型番：OBSVX2

参考価格：オープン

- 製品仕様

- CPU

- モデル：Intel Atom E3805 64bit 1.33GHz 2core 2thread 1MB L2 cache
- 動作速度：1.33GHz (デュアルコア)
- 内蔵2次キャッシュ：1024kB/Core

- メインメモリ：オンボード 2GB(64bit bus DDR3L)

- 内蔵ストレージ：32GB(eMMC)

- 追加ストレージ：microSD カードスロット×1

- 無線インターフェイス

- BT 4.0(BLE)+2.1 EDR
- WLAN (IEEE802.11a/b/g/n/ac^{※1})

- SIM インターフェイス：通信用 miniSIM(25×15×0.76mm)カードスロット

- 有線インターフェイス

- USB(HOST)：3.0×1(type-A) ^{※2}
- USB(Console)：Micro USB(type-B)×1^{※2}
- Ethernet：10BASE-T / 100BASE-TX / 1000BASE-T ×2
- RS-485：半2重 x1 (使用可能電線範囲: AWG22)

- セキュリティ：TPM 2.0(Trusted Platform Module)あり

- 寸法：91.9(W)×114.8(D)×25(H)mm (突起部含まず)

- 重量：160g (付属品含まず)

- 電源：DC-Jack：DC4.75～5.25V / Wide DC 給電時：DC10～48V^{※3}

- 消費電力

- アイドル時：AC アダプタ 5.5W(11.2VA) / Wide DC (48V 入力時) 4.0W
- 高負荷時：AC アダプタ 9.0W(16.9VA) / Wide DC (48V 入力時) 7.5W

- 動作温度：-20°C～+60°C^{※4}

- 認証(WLAN/BT)：JATE / TELEC

- 適合規格

- PSE・VCCI class A
- IEC60950-1
- FCC Part 15 Subpart B class A・UL 60950-1・CAN/CSA-C22.2 No. 60950-1
- RED・RoHS

- RTC バックアップ時間：10 年
- 出荷時 OS：Debian GNU/Linux (64 bit)
- 保証条件：センドバック 1 年保証

※1：802.11ac は FW3.0 ではご利用頂けません。

※2：サポートするケーブル長は 3m 未満です。

※3：本機能をご使用いただく場合、外付けノイズフィルター(NAC-04-472(COSEL))または同等のノイズフィルターの接続が必要です。

※4：周囲温度が 40°C を超える環境に本製品を設置する場合は、添付の放熱・設置ブラケットを取り付けてご使用ください。

- サブスクリプションサービス 1 年間付属

- Q&A サービス ※5
 - ◇ 製品導入時のセットアップ方法に関するお問い合わせに対応します。
 - ◇ ビーコンやセンサー等の IoT デバイスの登録方法に関するお問い合わせに対応します。 ※6
 - ◇ 不具合に対する対応を提供します。(例：Debian パッケージの不具合対策版有無の問い合わせ対応)
- 通知サービス
 - ◇ 新たなファームウェアが公開された際、登録されたメールアドレスに通知するサービスです。 ※7
- 先出しセンドバックサービス
 - ◇ ハードウェア故障時、交換品を先出しにて発送致します。 ※8
- IoT リモートマネジメントサービス AirManage for IoT
 - ◇ 複数台の OpenBlocks® IoT を統合管理する SaaS 方式で提供されるサービスです。複数個所に設置された OpenBlocks® IoT の一括ファームウェアアップデートやリモート WEB UI アクセス等を行うことが出来ます。

- ハードウェア保守 1 年間付属

- センドバック保証 1 年間 (有償で最大 5 年間延長可能) ※9

制約事項：

・Q&A サービス等のお問い合わせは、ご契約時に登録された 2 名のご担当者様からのみお受けいたします。

※5：当社 FW を標準仕様のまま使用されている際に提供可能なサービスです。お客様によるソフトウェアの追加等、カスタマイズし使用されている場合、サービスの提供をお断りする場合があります。

※6：当社標準サポート機器のみが対象です。(最新情報は当社ホームページにて公開)

※7：ファームウェア (カーネルを含む) は重大な脆弱性が発見された場合に提供されます。

※8：ハードウェア保守へ加入しており、当社製品保守担当者の指示のもとお客様にて切り分け作業を行っていただいた結果、当社が故障と判断した場合に限ります。

※9：内蔵ストレージ (eMMC) が書換え上限に達生じた不具合については保証は適用されません。別途費用が発生します。

- 受注/出荷スケジュール
 - 受注開始：2017年12月20日～
 - 出荷開始：2018年2月予定

関連URL

OpenBlocks® IoT VX2 製品情報

https://openblocks.plathome.co.jp/products/obs_iot/vx2/

IoT Gateway Firmware 3.0 詳細

https://openblocks.plathome.co.jp/products/obs_iot/vx2/function.html

ぷらっとホームについて

ぷらっとホームはマイクロサーバーの開発製造大手です。1993年の創業よりLinuxサーバーのパイオニアとして、通信やネットワーク分野に自社製コンピュータを供給してきました。手のひらサイズの超小型Linuxサーバー「OpenBlocks®」は、大手通信事業者をはじめ、物流、輸送、金融、エネルギー産業、官公庁など日本の社会インフラを支える様々な領域で採用されており、今後大きく成長すると見込まれるM2MやIoT（Internet of Things: モノのインターネット）でも大きな注目を集めています。

本発表に関するお問合せ先

報道機関からのお問合せ先：

- ・ぷらっとホーム株式会社 製品マーケティング部 星 賢志（ほし けんじ）
pr@plathome.co.jp
Tel 03-5213-4373 / Fax 03-3221-0882

ユーザー向けのお問合せ先：

- ・ぷらっとホーム株式会社 営業部 竹内 敬呂（たけうち よしろう）
sales@plathome.co.jp
Tel 03-5213-4370 / Fax 03-3221-3766

* 外観・仕様・価格等は予告なく変更する場合があります。

* ぷらっとホームおよびPlat'Homeの名称・ロゴは、日本国及びその他の国における、ぷらっとホーム株式会社の登録商標または商標です。

* その他、本プレスリリースに記載されている会社名および商品・サービス名は、各社の登録商標または商標です。